

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	17	124660	防犯推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		5,073	5,514		441
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	5,073	5,514		441

特定財源の内訳					
事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	～	平成31年度

部重点施策における目標
安心・安全な日常生活を送っています。

事業開始の背景・経緯
犯罪や非行のない明るく安全で住みよい地域社会を実現するため、市民の防犯意識を高める。

事業概要
花巻市防犯協会の活動支援 5,000千円 安全・安心まちづくり大会の開催、防犯パトロール、啓発活動、防犯教室の開催 防犯メール配信やコミュニティFMを活用した情報提供の実施 空港周辺地下道防犯対策 514千円 空港周辺地下道緊急通報装置の管理 3台

担当部署	15200000 市民生活部 市民相談	担当課長	畠山 夕子
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
花巻市防犯協会の活動支援 5,000千円 <花巻市防犯協会> 関係機関と連携し、花巻市民が一体となって防犯意識の高揚や暴力団追放意識の高揚を図り、犯罪や非行のない安全で安心な明るく住みよい地域づくりに寄与することを目的とする団体。 活動の重点項目 (1) カギかけ徹底等の犯罪抑止活動 駐輪場での自転車カギかけ推進活動 自転車安全利用・盗難防止モデル校の指定による啓発 侵入窃盗、空き巣、車ねらいなどを防止する広報活動 (2) 特殊詐欺被害防止に向けての啓発活動 防犯教室(出前講座)の実施 青パト車を活用した広報活動 特殊詐欺発生情報のメール配信 (3) 子どもと女性の安全確保 新入学児童への防犯ブザーの配付と保護者への啓発 子ども110番の家の推進 不審者情報等のメール配信 有害図書自動販売機調査・撤去要望活動 少年の健全育成事業に対する協賛(防犯剣道大会、柔道大会、わたしの主張花巻大会) 主な事業 (1) 地域の安全を守る活動 季節地域安全運動(国、県が定める季節安全運動期間において、街頭啓発活動を実施) 安全・安心まちづくり大会の開催(11月15日開催) 暴力団追放啓発活動(啓発物品、資料の配布) 防犯隊活動(犯罪の予防警戒活動、青少年の非行防止活動、規律訓練及び研修会の実施) 防犯連絡所活動の推進(防犯連絡所、こども110番の家の指定) 交通安全団体・防犯ボランティア団体等と連携した地域安全活動 (2) 広報啓発活動 コミュニティFM等を利用した情報の発信 (3) 協会運営にかかわる事業 総会 理事会 総支部長会議 (4) 関係機関の会議・研修会への参加 岩手県防犯協会連合会理事会、総会 安全安心まちづくり県民大会(10月1日開催) 岩手県暴力団追放県民大会(10月21日開催) (5) 表彰 地域安全功労者・功労団体の表彰・推薦 空港周辺地下道防犯対策 514千円 空港周辺地下道緊急通報装置等の管理(方八丁地下道、源明地下道、東宮野目地下道) 地下道内非常ボタンに連動し、自動的に花巻警察署、花巻市役所(守衛)に通報される。 緊急通報装置等通信費 緊急通報装置設置業務(通報装置更新)

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	05	02	184400	空家等対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	1,400		1,400
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	1,400		1,400

特定財源の内訳					
事業期間		単年度繰返		期間限定	平成31年度 ~ 平成31年度

部重点施策における目標
管理不十分な空家等の対策に取り組む。

事業開始の背景・経緯
平成26年11月27日に公布された「空家等対策の推進に関する特別措置法」（平成26年法律第127号）が平成27年5月26日に完全施行され、市に空家に関するデータベースの整備について努力義務が課せられたこと及び、空き家等対策を効果的かつ効率的に行うためには空き家の実態調査が必要であるため。

事業概要
空き家等対策協議会 0千円 特定空家等の認定等協議会で協議が必要な事象が生じ、開催した場合に出席した委員へ報酬を支出 空家等無料相談会 40千円 空家等に関する無料相談を実施する際の、相談員への謝礼金 老朽危険空家解体補助 1,000千円 空家の中で特に構造の腐朽又は破損等により著しく危険と判断した住宅の所有者等に対して1件当たり500千円を上限として除却解体費を補助 空家等危険度調査業務委託 359千円 市内の老朽化された空きビルについて、特定空家等としての認定の可否の判断材料とするため、危険度調査を業務委託により実施

担当部署	16300000 建設部 建築住宅	担当課長	藤井 善也
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
1 空家等対策の概要 (1)市内の空家等対策の現状（住宅数36,980件・空家数4,750件 H25住宅・土地統計調査） ・平成24年度及び27年度に区長からの情報をもとに調査を実施（実態調査戸数1108件） ・近隣住民等からの苦情等があった場合、随時対応 (2)空家等対策を巡る国の動き ・「空家等対策の推進に関する特別措置法」が、平成27年5月25日に完全施行 ・適正な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響 ・市町村は、空家等対策計画を策定、空家等対策協議会を設置することが可能 2 市の取り組み (1)空家等対策協議会 0千円 ・花巻市空家等対策計画の策定及び変更に関する協議等を目的として設置 【計画の構成】目的、空家の現状・課題、空家等の対策計画 【計画期間】平成28～32年度（5年間） ・構成員・市長・区長会・花巻市地域婦人団体協議会・司法書士会・まちづくり委員会・土地家屋調査士会・宅建協会・建築士会・花巻市消防団・岩手県花巻土木センター ・特定空家の認定等について年3回の開催を想定したが、協議が必要な事象が生じなかったため協議会が実施されなかった。 【予算内容】報酬 4,000円×8人×3回=96,000円 (2)空家等相談会 40千円 ・空家等に関する無料相談を実施。 ・【内訳】相談員への謝礼金 4,000円×5人×2回=40,000円 (3)老朽危険空家解体補助 1,000千円 ・空家の中で特に構造の腐朽又は破損等により著しく危険と判断した住宅の所有者等に対して1件当たり補助率4/5、500千円を上限として除却解体費を補助（市250千円+国250千円×2件） (4)空家データベースの構築 ・平成30年度までに業務委託により整備したデータベースシステムを新たに通報などで増加する空家について空家等の所在、所有者等の権利関係、空家等の管理状況や朽腐の程度を把握し、現況等の情報を更新して、関係部局と情報を共有する。 (5)空家等危険度調査業務委託 359千円 ・市内の老朽化された空きビルについて、特定空家等としての認定の可否の判断材料とするため、危険度調査を業務委託により実施した。 (6)その他の取り組み ・「特定空家等の認定基準」により認定した場合、助言・指導 勸告 命令 代執行 特定空家...著しく保安上危険、衛生上有害、景観を損なっている、放置が不適切な空家 ・通報等によって新たに情報を把握した空家等の調査、所有者等への文書発送、データベースの更新作業